



YIA 会員だより 2005年10月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部 (Tel : 42-4117, Fax : 42-4499)
ホームページ URL : <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>



10月の活動計画

	日(曜日)	時間	会場および問合せ先	行事名および内容	備考	担当
定例事業	29日(土)	18:30~20:30	文化研修センター	定例理事会		事務局
	毎週木曜日	19:00~21:00	文化研修センター	英会話教室 講師:アリソンさん		
	毎週金曜日	19:00~21:00	川島教室	日本語教室		支援部
	毎週日曜日	14:00~16:00	石井教室	講師:手塚功先生 サポーター:住友初美さん		
		19:00~21:00	上板教室			
	毎週金曜日	19:00~21:00	文化研修センター	日本語教室 講師:村上瑛一先生		
	毎週日曜日	13:00~15:00		サポーター:藤野井さん、西島さん		
2日(日) 30日(日)	19:00~21:00	治作マンション	PPC(英会話フリートーク) アン・中村さんを囲んで			
企画事業	15日(土)	19:00~21:00	多喜味レストラン	ALT 歓迎会 申し込み先:吉野理事(TEL 090-7142-1626)	*1	交流部
	10月22日(土) ~11月3日(火)	10:00~18:00	山川図書館会議室 (月曜日休館)	「ドイツ高校生滞在記」展示		支援部
	適宜		外国の方のお家など	訪問インタビュー;吉野川市在住の外国人の方を訪問しお話を聞きます		
	16日(日)	19:00~21:00	上板公民館	日本語サロンを開きたいと思います。 参加して下さる方募集しています。	*2	
	23日(日)	12:00~	鴨島駅前マミー広場	まちかどコンサート、フリーマーケット YIA 移動事務局をおきます。ここで情報収集、入会手続きなどができます。	*3	環境部
31日(月)	13:30~	お手伝いくださる方に直接連絡します。	広報部部会	*4	広報部	

***** 皆さんの参加を募集しています。*****

*1	*2	*3	*4
ALT 歓迎会	日本語サロン	まちかどコンサート	広報部よりお願い
先月、訪問インタビューで紹介しましたクリストファーさんを囲んで夕食を食べながらおしゃべりを楽しみましょう。日本語が非常に上手な方なので、気軽に楽しいひと時が過ごせると思います。 参加費:2500円 申し込み期限:10月10日 申し込み先:吉野理事 Tel 090-7142-1626	手塚理事の教室で日本語サロンを開きたいと思います。少人数のグループに分かれて、外国の方と日本語だけで話をさせていただきたいと思います。大勢の方が参加くださると、それだけ日本語を話すチャンスがあげられます。是非ともが参加下さい。 申し込み先:手塚理事 Tel 090-6284-1284	10月のまちかどコンサートは、徳島市にお住まいのグループ「アミンダ」による、オカリナの演奏です。大勢の方に聞きに来て欲しいものです。	部会と共に「会員だより」配布の準備をしたいと思います。今後も毎月末に開きたいと思います。広報部員でない方も一人一年に一度でいいのでお手伝いくださると助かります。よろしく願います。 連絡先:市原理事 Tel 080-3165-7517

9月の活動報告

《交流部》

9月17日、徳島大学開放実践センターにおいて、留学生に日本語を教える教育関係者が集う「日本語教育方法研究会」が開かれました。県内外の大学や交流団体など約100人が参加し、現場での取り組みや課題を話し合いました。

わがYIAからは、野口、小林、大坪、吉野が参加し、徳島大学大石教授のご指導のもと、この夏に行った「ドイツ高校生ホームステイ」受け入れ事業について報告しました。

地域の人々の異文化交流・多文化共生に対する意識が高まった成果を発表しましたが、たくさんの方々から



の熱心な質問を受け、私たちが思っていた以上に日本語教育の専門家から高い評価を受けました。地域の人々と共同でプロジェクトを成し遂げた意義の大きさと重要性を改めて認識しました。

今後も地域の人々に異文化交流・多文化共生への理解を頂くために、YIAは交流活動を続けていくことが大切だと思いました。

吉野 記

《事務局》

2005年度の会費を未納の方がたくさんいます。同封の振込み用紙で、できるだけ早く収めてください。

新しいパンフレットができました。YIAの活動がもっともっと大勢の方に知っていただけることを期待しています。皆様のご協力をお願いします。



「ハイデさんからの手紙」 (3)

二つ目のホームステイ先(白川さん宅)に移ったときには、日本と日本文化に親しんでいくための計画が、同じようなスピードでさらに続いていくなんでほとんど考えもしませんでした。白川先生と、いつも一緒の親友荒木さんはさらに私の日本文化への知識を高めてくれました。そばの作り方を学んだし、和紙でオリジナルのカードも作ったし、この上なく美しい栗林公園へも連れて行ってもらいました。荒木さんのご主人からは八十八箇所の説明をうけ、また私のためのお茶席も開いてくれました。散歩も、サイクリングも楽しく、夜でさえも蛍のようないでたちをして、ほとんど日課となっていました。

この数週間はきっぴつまでも私の心に焼き付いて離れることはないでしょう。もうすでに友人たちに吹聴しています。まるで吉野川市に何年も住んでいたかのように思えます。たぶん日本語はそんなに進歩していないでしょうが、日本とすばらしい日本人を深く知りえたことは間違いありません。本当にありがとうございました。(終) ハイデ・ルター



「フランスの日野さんから」 前号から続く

たとえば、Sandrine は、本が丸みを帯びて手になじむからといって表紙の端をわずかに削りますが、Dijon の職人さんは削りません。また Dijon では本のタイトルなどの金箔押し(dorure)もアトリエで仕上げますが、一人でやっている Sandrine のアトリエではそこまで手がまわらず、その部分だけパリの職人に依頼します。アトリエそれぞれの経営事情もあるようです。最近ではこういった工程も機械化しているアトリエが増えているといつて Dijon の職人さんはとても嘆いていました。

こんな風にリリユールを習うと同時に直接職人さんからいろんな話が聞けることも、私にはとても有意義なことだと感じています。Sandrine も大張り切りで、短い間にできるだけ多くのことを学べるようにと、今 13 冊同時進行で製本していて、作業に集中していると、一日はあっという間に過ぎてしまいます。村自体も小さくて、周りは麦畑やブドウ畑が広がり、前にいた Dijon とはまた違った生活を送っています。その分製本に集中できている気がします。この分だと残り 2 週間もあっという間に過ぎてしまいそうで、一日一日を大切にしようと心がけています。それではまたお便りします。どうぞお体に気をつけてお過ごし下さい。



《広報部》

9月14日、第1回広報部会を開きました。目下のところ6人ですが、いろいろ話し合いました。これまで、瀬尾会長がご主人の協力を得てがんばってこられたようで、さぞ大変だったことと思います。広報部員だけでなく、ほかの会員さんの力も借りて、ご苦勞を無にせず、何とか引き継いで行きたいと思っています。ご協力をよろしくお願いします。

市原 記

《環境部》

9月25日、毎月1回のまちかどコンサートを開きました。出演は長野県にお住まいの自然派フォークシンガー、大村和生さんでした。好天に恵まれたのですが、市内の小学校の運動会と重なり、観客が少なかったのが残念でした。YIAからも数人の方が聞きに来てくれました。

また、まだ先のことですが、11月19日にスタジオ・ピクニックにて「ナガタ・デュオ」のコンサートがあります。詳しいことは次号でお知らせしますが、よろしくお願ひします。

小林 記

《支援部》

日本語教室には現在、金曜組が10名前後、日曜組が15名程度の出席状況です。中国人がほとんどで、他にインドネシア人二人、韓国人一人です。金曜日は中級と初級の間くらいのレベルで、日本語の文法と会話を主としており、日曜日は敬語とか受身などやや難しい分野をやっています。

日本語講師養成講座修了者の方にもっとお手伝いして欲しいと思います。

村上瑛一 記

第3回訪問インタビュー

全榮求(ジョン・ヨング)さん、朴炳鎬(パク・ピョンホ)さん 韓国出身の研修生。今年7月に来徳、日本語と仕事にがんばっています。

Q 徳島でどこか観光しましたか？

A 鳴門の渦潮、大塚美術館を見学しました。

Q 他に何か楽しかったことは？

A 8月に、日本語の先生から紹介され、阿波踊りに参加しました。とてもいい思い出です。韓国にもカンカンソレエといつて南の海岸地方に伝わる民族舞踊があり、男女とも赤古里(チョゴリ)を着て踊るそうです。

Q 徳島で珍しいと思った事は？

A パーティとかお酒を飲む席で、日本では先にお酒やビールを飲み、後からご飯を食べますね。韓国では反対に、先に食事をしてからお酒を飲むのが習慣です。驚きました。

Q 学校ではどんな勉強をしますか？

A 中学で新しく英語と漢字を習い始め、高校では英語が必修、選択科目に中国語、日本語、フランス語、スペイン語、ドイツ語があります。

Q お二人は何を選択されましたか？

全 レスリングを専門にやっています。運動を専門にすると一日3時間くらい勉強すると、後は練習ばかりです。

朴 フランス語を選択しました。

Q ご家族は？

全 妻と二人の子供です。

朴 まだ独身です。

Q 今何が一番したいですか？

全 日本に来るとき、下の子がまだ話せなかったが、今は2歳になり、やっと電話で話せるようになりました。会いたいです。

朴 北海道へ行ってみたいです。後、ピリヤードをしたいです。(インタビューア:手塚功)

二人 9月23日に大阪でK-1の試合があり、チェ・オンマン選手が来るのでぜひ見に行きたいです。



全さん



朴さん